

令和4年度 野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館 指定管理者管理運営状況調書

担当課 興風図書館

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課評価	特記事項
利用者の平等利用が確保されること	①平等利用確保への取組	B	B	
	②児童・障がい者・高齢者への配慮	B	B	
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	①施設の利用促進に向けた取組	B	B	
	②地域の特性を活かした取組	B	B	
	③児童・青少年層への読書普及のための取組	B	B	
	④レファレンスサービス充実のための取組	B	B	
	⑤サービス向上のための取組状況	B	B	
	⑥自主事業の取組	B	B	
個人情報の適切な保護が図られていること	①個人情報保護のための取組	B	B	
緊急時の危機管理体制が確立されていること	①施設の安全管理、緊急時の危機管理のための取組	B	B	
	②利用者の要望及び苦情への対応の取組	B	B	
現金の取扱い等の経理処理が適切に行われていること	①現金の取扱い等の適切な経理処理についての取組	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る経費の収支見込について	B	B	
	②管理経費縮減のための取組	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際し、地元業者へ配慮すること	①地元住民の雇用及び地元業者への配慮	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	①人員配置について	B	B	
	②職員の指揮監督・管理体制について	B	B	
	③人材育成の取組	B	B	

総合所見

今年度は新型コロナウイルスまん延防止重点措置適用により野田市新型コロナウイルス対策本部会議の決定に基づき、中止していた「おはなし会」を令和4年4月22日から再開し、報道による感染状況によっては事業を見合わせるなど難しい状況ではありましたが、指定管理の業務に係る仕様書に基づき適正に管理運営がなされています。

事業面では、4月22日からコロナ過前の状況に戻し、計画通り制限なく実施しています。

利用状況につきましては、せきやど図書館における個人貸出点数が「コロナ」禍以前の令和元年度と比較すると12月末時点の同月比で16,529点減少しており、依然として大きく減少した状態が続いていますが、今年度は「コロナ」禍で大きく落ち込んだ前年度よりは少し持ち直して、個人貸出点数は12月末時点の前年同月比で3,664点増加しています。

また、関宿コミュニティ会館においても図書館と同様に「コロナ」禍以前との比較では利用件数及び利用者数ともに減少した状態が続いているものの、利用件数及び利用者数は前年度より少し持ち直して、12月末時点の前年同月比で利用件数は238件の増、利用者数は2,989人の増となっています。

施設の管理面では、保守点検についてはおおむね業務計画書のとおり実施されており、現時点では危険な箇所はありませんでした。

指定管理者の経営状況については、損益計算書等により経営基盤が安定しているものと認められます。

全体的には、おおむね適正に管理運営が行われていると評価します。

今後は、施設利用の増加を目指して更なるサービス向上に努めてもらいたい。